

## JR 津田から河内磐船へ (第76回くらわん会 2002/10/01)

10月に入って急速に秋らしくなってきたが、関東直撃の大型台風と秋雨前線の影響で朝から本格的な雨になった。雨に降られたことの少ない、くらわん会では久方ぶりの雨中の例会となり、参加者も38名と発足当初以来の少数精鋭部隊となった。それでも熱心な歩こう会ファンはこれ位の雨には負けない。

国見山から野外活動センター、穂谷コスモスの里の山越えコースを予定していたが、安全のため交野山麓の散策に変更になった。JR津田駅から警察学校横を廻り山麓を南に向かった。枚方変電所の裏に建設時に発掘した古墳からでた遺骨を祀った塚がある。約1300年前この付近一帯には大陸から移り住んで機織りを業としていた「はたはたもの」という集落があり、倉治古墳群がある。

免除川上流、源氏の滝のすぐ下まで行くと橋を渡ったところに高天原本宮奥津宮という小さな神社があった。天気が良ければ見晴らしの良い筈の倉治公園で小休止、相変わらずしのつく雨が降り続ける。

JR学研都市線を越えて機物神社に向かう。機織りが盛んだったこの地の守護神として織姫・天棚機比売(あまのたなばたひめ)大神をおまつりした神社である。昭和54年から七夕祭りが復活し、天の川を挟んで香里ヶ丘観音山公園の中山観音寺址の牽牛石とともに賑わう。

休憩のあと交野青山の田園地帯を歩く、稲穂が



約千三百年前この付近に大陸から移り住んで機織りを業としていた「はたはたもの」という集落があり、倉治古墳群があった

大型台風接近の中JR津田駅に熱心なくらわん会員38名が集合



雨のため国見山越えをあきらめ、交野ヶ原の山麓散策へのコース変更を長川世話人から説明



昭和40年に開校した大阪府警察学校前の桜並木を歩く





免除川上流の源氏の滝はここから  
分、交野山への登山口



源氏の滝のすぐ下まで行くと橋を  
渡ったところに高天原本宮奥津宮と  
いう小さな神社があった



天気が良ければ見晴らしの良い筈の  
倉治公園で小休止、相変わらずしの  
つく雨が降り続ける



南北に細長い機物神社の北の大鳥居  
に着いた

頭を垂れ、咲き残ったひまわりや彼岸花が彩りを添える。あちこちに可憐なコスモスが雨に打たれながらもけなげに咲き誇る。信貴生駒山系の交野山麓の秋景は雨の中でも秀逸の趣であった。

府道交野久御山線を越えると「星のまち 交野」の生涯スポーツ活動の拠点として、平成9年3月竣工した「いきいきランド交野」と呼ばれる総合体育施設があり、体育館「スタードーム」や星の降る広場市民グランドなどの施設に着いた。

ここからはJ R河内磐船・京阪河内森まで10分ほど、ここで昼食を摂って帰るグループと、そのまま帰宅するグループに分かれ、11月例会の京都「哲学の道」の好天を祈り再会を約束して今日の行程を解散した。

富田朝己記

あちこちに可憐なコスモスが雨に打たれながらもけなげに咲き誇り、交野山麓の秋景は雨の中でも秀逸の趣



昭和54年から七夕祭りが復活し、天の川を挟んで香里ヶ丘観音山公園の中山観音寺址の牽牛石とともに賑わう





J R学研都市線を越えて機物神社に向かう。機織りが盛んだったこの地の守護神

本殿右にも小さな祀り所がある



機織りが盛んだったこの地の守護神として織姫・天棚機比売(あまのたなばたひめ)大神をおまつりした神社である

交野青山の田園地帯を歩く、稲穂が頭を垂れて交野山にガスが流れる



山麓一带には時代を繋ぐように古墳群が並んでおり、田圃の中にも発掘現場があった

土手にはもう花の盛りを過ぎた彼岸花がいちめん

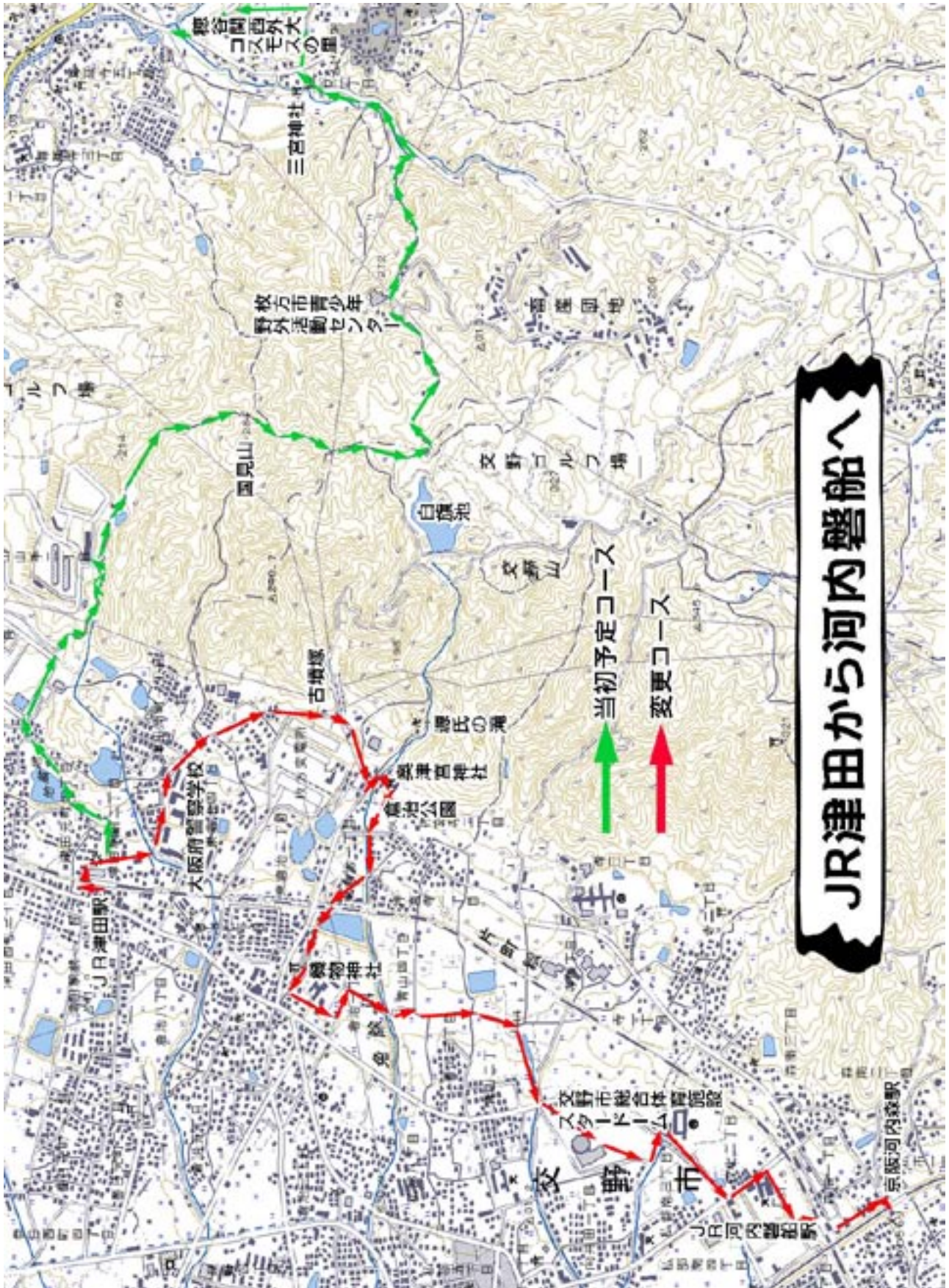


夏の名残のひまわりも最後の花を懸命に伸ばしている



「星のまち 交野」の生涯スポーツ活動の拠点として、平成9年3月竣工した「いきいきランド交野」と呼ばれる総合体育施設があり、体育館「スタードーム」や星の降る広場市民グラウンドなどの施設に着き、ここで解散





<行程>

J R津田駅⇒大阪府警察学校⇒古墳塚⇒倉治公園⇒機物神社⇒交野市総合体育施設  
 スタードーム⇒JR 河内磐船駅 約6 km

2002年10月01日(火) 第76回例会 38名参加